

協働通信

昨今、豪雨災害や台風、地震等の大きな災害が全国各地で起きており、防災・減災対策を地域で行っていく重要性が増しています。

今月号では、各地域協働のまちづくり推進会で行われている防災・減災対策事業について紹介します。

◆開地地域

開地地域協働のまちづくり推進会では、9月26日(水)に都留文科大附属小学校体育館で防災研修会を開催しました。市の危機管理担当職員が講師として伺い、「地域の防災力アップ」地域防災計画の重要性」をテーマに、「災害とは何か」「自分や地域でできる対策」「地域の危険箇所」などについて研修を行いました。研修では、自治会ごとに「都留市土砂災害ハザードマップ」を参考に、地域の危険箇所や一時避難場所、避難時の声掛け確認の範囲、要配慮支援者の住まいなどについて話し合いながら地図に記入しました。実践的な研修により、参加者も身近な問題として地域での防災・減災対策を学ぶことができました。



▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問合先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX(43)1322

◆谷村地域

10月27日(土)に「防災・防犯講演会」を開催しました。テーマを「白色タオル運動の普及推進」災害時に家族の無事を地域の人に知らせよう」大阪北部地震と西日本豪雨災害を受けて」の2つとし、大月警察署警備課と市の危機管理担当職員を講師として招いて地域での防災対策について学びました。

〓白色タオル運動について〓

この運動は、災害が起きたとき、避難する際に玄関や門扉など外から一目でわかる場所に白いタオルを結びつけることで、「この家には救助を必要とする人はいませんよ」ということを示すものです。地域の皆さんの安全確認をスムーズに行うために大切な運動でもあります。

地域協働

のまちづくり推進会連絡会においても、この運動を啓発しておりますので、地域のご協力をお願いします。



各地域協働のまちづくり推進会では、防災・減災対策について講演会・研修会を通じた啓発活動を行っていますので、地域を問わずぜひ積極的にご参加ください。

地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひろば「料理教室」むつみの家メンバーとの交流、身近な食材を美味しくいただく。

日時 11月22日(木) 10時～13時
場所 ぴゅあ富士2階実習室
材料費 200円(当日集金)
問合先 まちづくり交流センター
☎(43)1321

第47回市民歩け歩け大会

日時 11月23日(金・祝)
受付8時30分 開会式9時
開会式終了後出発※雨天中止
集合場所 まちづくり交流センター
共催 谷村地域協働のまちづくり推進会
問合先 生涯学習課スポーツ振興担当

開地地域

開地文化交流展

日時 11月24日(土) 13時～17時
25日(日) 9時～15時
場所 開地ふれあい集会所
問合先 開地地域協働のまちづくり推進会
会長 荻窪 守 ☎(43)7593

三吉地域

防災講習会

日時 11月6日(火) 19時
会場 いきいきプラザ都留3階研修室
演題 被災地から学ぶ減災、地区防災計画の必要性
講師 NPO法人災害・防災ボランティア未来会代表山下博史

グランドゴルフ教室とすいとん試食会

日時 11月17日(土) 9時～12時
場所 玉川グラウンド
※雨天の場合、谷村第二小学校体育館
問合先 三吉地域協働のまちづくり推進会
会長 相川 義美 ☎(43)3093

禾生地域

第13回文化展

日時 11月17日(土) 9時～17時
18日(日) 9時～15時
場所 禾生地域コミュニティセンター

健康増進事業「グランドゴルフ」

日時 11月23日(金・祝) 9時30分集合
集合場所 禾生第二小学校校庭
申込締切 11月19日(月)
共通問合先
禾生地域コミュニティセンター
☎(45)6622

教育に関わる仕事をしている関係で、各種の研修会や講演会に参加する機会が数多くありますが、そうした会の中でよく聞く言葉があります。それは、「認知的能力」と「非認知的能力」という言葉です。

「認知的能力」とは、学力テストや知能検査などで測れる能力です。また、「非認知的能力」とは、テストや検査だけでは測れない個人の特性や対人関係能力を指し、具体的には「意欲」「協調性」「ねばり強さ」「忍耐力」「計画性」などのことです。

最近、全国学力テストや県の学力テストなど、「認知的能力」を測ることが重視されています。また、小学校中学年からの外国語の導入など、早い段階から取り組ませて効果を上げようとする試みも見られます。

「認知的能力」を高めることに反対するわけではありません。「認知的能力」を上げること、将来の職業選択の幅が広がり、自分の夢や希望を実現することにつながるからです。しかし、「認知的能力」に重きを置きすぎている気がします。学校現場や家庭などで、もっと「非認知的能力」を高めていけたらと思います。「非認知的能力」を高めるためにどうすれば良いのかを少し調べてみると、子どもの興味と親の接し方が大切なことが分かりました。子どもの

興味を大切にすることで「やる気」や「やり抜く力」が身についてきます。親の接し方としては、うまくいかなくても「今日もがんばったね」とか「次はきつとできるよ、こうしてみれば」とか、励ましたりフォローしたりすることが大切です。

ある講演会で、ペップトークというのを聞きました。元々は、試合前の選手を励ましたり、リラックスさせたりする話し方だそうです。たとえば、「決勝戦は、練習の成果を発揮して、思いっきり楽しんでこい」と言うのだそうです。逆に、「エラーするんじゃないぞ、分かっているな」などと言うと、気持ちが萎縮し、実力が充分に発揮できないそうです。

最後に、私の好きな励ましの言葉を書いて文章を終えたいと思います。江戸幕府三代将軍の徳川家光は幼少時に母親の愛情が弟に向けられていたため、気持ちが沈んでいたそうです。その時、乳母の春日局が、

「智仁武勇は御子の御宝」

「智恵と優しさと強さと勇気が貴方の長所なのですよ」と言って励ましたそうです。「ちちんぶいぶい」は、「ちじんぶゆう」のなまったものとする説もあります。

連載・青少年健全育成シリーズ 第328回

「認知的能力」と「非認知的能力」

青少年の声かけあいさつ運動の推進
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。
青少年育成都留市民会議編集委員

広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：総務課 法制広報担当

広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。

掲載状況は、下記をご参考としてください。

また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄